

夜理沙が森林で触手さん



FOR ADULT ONLY

ようつアリス

そんな美味しそうな菓子は何独り占めしようとしているんだ

私が焼いたんだから誰と食べるのも勝手でしょ…

今日は何を盗みに来たのかしら

人間が悪いな

ここしばらく見なかつたけれど

また何かの実験でもしていたのかしら？

まあそんなところだ

ちよつとした身体強化の実験でな

ふうん…

寿命を伸ばしたり体を丈夫に出来るんだ

お菓子美味しかったぜ

またそのうち食べに来るぜ

ウチは喫茶店じゃないわよ…

ハハッ





よーっれいむ

あら…久しぶりじゃない

おう、ちよつと研究に
夢中だったんでな



…つて事が
こないだあつてねえ…

そりや難儀だな

あら、誰か来たわ

こんにちわーっ



天気がいいんで
遊びに来ましたよー

おすそ分けにいろいろ
持って来ましたよ

あらあら気前がいいわね

魔理沙さんも
変わらないよう

はは、そうだな





今日の私の一日はどうだったの

…意識は戻ったか？



私 魔理沙



問題は一切
なかったぜ

誰にも勘付かれなかったと
自負するぞ



お、前…

また

外に…



お前…の…



せいで…



こんな、歪な事…
いつまでも…

続く…わけがない

絶対に誰か…
気付くハズ…

まあ、そうだといいね
くっくく…



てか歪なのはその身体
だと思うんだがな…

こんつ…
こんな身体に
なったのは…



早いところ私の体液を
補充させてくれよ



そろそろこの姿を
維持するのも辛く
なってきた



たしかに私を産んだ身体を
悪く言うものじゃないか

それはそれとして…

体液…こいつは産まれて
以来事あるごとに

化けるためと言って頻繁に
私の身体を食ってきた

何度も

毎度同じ行為じゃ
つまらないだろ？

何度も

何度も

クッ

おまっ…

かっ…







豪快に産んだじゃないか...



そ...外につ...



か...ふ...



服が血だらけじゃないか

反骨精神たっぷりだな



ぎゅ

また…っこんな…
格好っ…

ズ

させて何を…っ

ズ

ぎゅ



今日の「私」はおいたが
過ぎるんでな

ひっ



おしおきだ



ビクッ

ぎゅ



いあああ

あー

あー

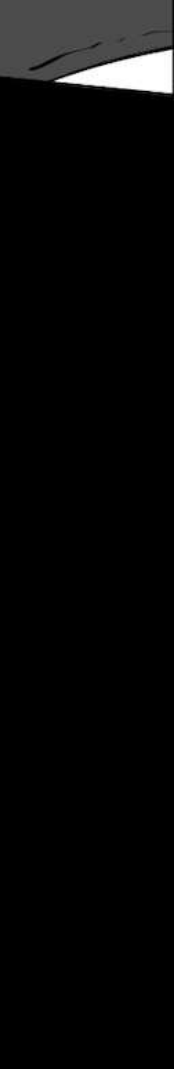


やっああ!?

何…この…

あー

あー









また…
こんな、恥ずかしい…っ

ギキ

離せ…

離せよお…!

ズズズズ!

やめ…

ギキ

ズズ

この変態イ…っ

はっ…変態ね

とつかさつきから
嫌々言っているけど…

その喘ぎようは
どうなんだい

き…っ…

しゃぶっ

ん…



そんな状態で変態
って言われても...

説得力がないよ...

か...

うわあああ!!

はひゃ...

フジ

なかなか出ないな

んうう?



絞り出してやる

む

ん

あおあ

ひはあ
ああ

ヒヒ



お、出た出た

ひ..は..

吸わ...なっ...

下の方も寂しいだろ

今挿れてやるよ

みち..

まっってえ...今ら...

ぐち...





はっ...

まるで娼婦だ

そう思わないか?

どうだよ

ああ...

抜いてっ...

いっあ...

なあ、改めて自分の身体を見てみるよ



私...私だっ...

この偽物...っ

へえ、そう?

何言っても...

変わり果てた魔理沙お前といくらでも「魔理沙」になれる私

なあ、どちらが「魔理沙」としてふさわしいと思う?

だけど皆は私を本物だと思って
接していたぜ

「私」も見ただろ

このまま入れ替わったまま
過ごしていけば

別にそれは私が本物…
と言ったって
いいんじゃないか?

違う…違うっ…!!



おがぁあ
がぁあ

ドッ

板…いいい!

「私」は「私」のまき

心配するなよ

外の生活は私にまかせて

ここで快樂三昧の生活も
悪く無いと思うぜ





あああああ

何で...

うう...

私なんだよ...

都合が

グッ

グッ

何でって...
そりゃ

良かったのさ

人間の女のくせに
こんな森で
一人で住んで...

襲ってくれって
言わんばかりさ

私にしたって森で
瘴気を吸って細々と...

過ごすのにもいい
加減飽きてたんでね

魔法使いという
のも良かった

おかげで精巧に
化けることができる
身体を作ることが出来た

性格も気に入って
いるんだぜ?



うう...
うう...



安心しろよ

その身体は私が化けるために
必要だからな

死ぬような真似は
したりしないよ

は...

は...

あ...っ?



あ...ああ...?

何...

グウ...



あ...ちゃん

は...

あ...



まあ



う...う...う...

は...

う...う...う...

多少死なないように
しておくが



不老不死にも興味が
あつたじゃないか

だから生半可なことじゃ
死なないような身体に
してやるのさ

安定して私が私お前
いるためにな



いい顔だ

あぁあぁ

あぁあぁ





……さっし

これで数日は持つかな

十分姿を維持する量の
体液は摂取できたし私は行くぜ

次来るまでそこで
楽しんでいな

う……っ!?

だ



ぐ

ボ

ぐううう

ぐ



頭はまたダメになる
だろうが……大丈夫さ

があ

があ

脳や記憶なんていくらでも
修復できるからな

だ

ぐ

だ

ぐ

だ

があ

やだっ……やだ……

もう……身体……
弄られるのは……

うふっ……

うふっ……

うふっ……

誰か……

なんで……私がつ……こんな……

私が飽きるまで十分に
楽しませてくれよ

これから末永くヨロシク

助けて……誰か

魔理沙_私

助けて……



あとがき

砂(s73d)です。

前作の製作に半年以上を費やしていたので

今回、2ヶ月というわりと短期スケジュールで完成できるか不安だったんですが
なんとか完成までこぎつけることが出来ました。

マンガ制作にも慣れてきたんでしょうか やったね

しかし製作途中に自分の過去作を読むと、失われたものも多々存在すると痛感しました。

今後はそういった要素を取り戻し昇華させていきたいですね。

ひとまず触手シリーズは一区切り、といったところです。

今後はもう少し幅広くやっていこうかと考えています。

今回はお手にとっていただきありがとうございます。

奥付

発行日:20130812

発行 :砂亭(s73d)

連絡先:s7ch3d@yahoo.co.jp

原作 :上海アリス幻楽団 様

無断転載・無断アップロード禁止

18歳未満の方の購読、閲覧も固くお断りしております。



砂亭

FOR ADULT ONLY